

● みちづくり

1 生活に密着した道路の整備

問合せ先 道路建設課

通勤・通学、買い物など日常の暮らしの利便性・快適性を向上させるため、都市部においては交通渋滞の解消・緩和など、また、離島などの地方部においては狭くてすれ違いが困難な道路や線形が悪く走行しにくい道路の改良を進めます。

○ 都市部の交通円滑化対策

都市部での厳しい交通渋滞

本県は地形的な要因から、交通が都市部に集中しやすい状況にあります。

このため、長崎、佐世保、諫早などの都市部においては、慢性的な交通渋滞が発生し旅行速度が低下しており、日常生活や産業活動に大きな支障となっています。

平成22年度～平成27年度の目標値

成果指標	目標値
走行時間便益 (県管理道路) (走行短縮時間× 年間交通量× 時間価値)	63.6億円



【長崎都市圏】



【佐世保都市圏】



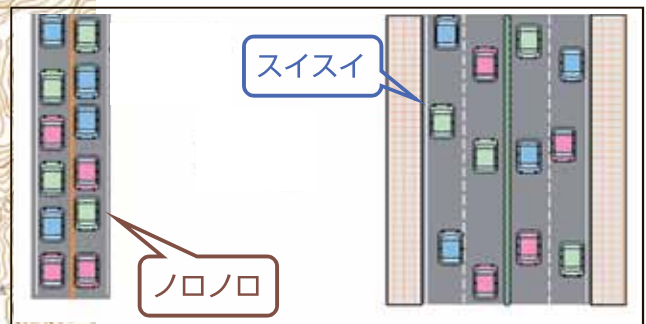
【県央都市圏】

都市部のランク別旅行速度 (H22センサス)

凡 例	
【混雑時平均旅行速度】	
Red	: 20km/h 未満
Purple	: 20~30km/h
Orange	: 30~40km/h
Green	: 40~50km/h
Blue	: 50km/h 以上
Grey	: 非観測区間



一般国道499号(栄上拡幅) 2→4車線拡幅 4車線拡幅のイメージ



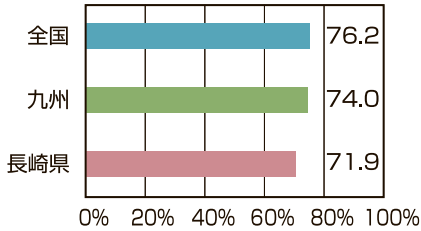
混雑が緩和されスムーズで快適な車両の流れが確保される。

○ 離島部などの生活道路対策

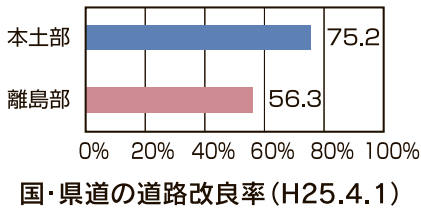
道路改良が大きく遅れている離島部

本県は陸地のほとんどが離島・半島で構成され、山がちな地形で平地が少ないことから全国に比べ道路改良が遅れています。特に、離島部では、本土に比べ地形が急峻で費用がかかることもあって道路改良が遅れており、すれ違いが困難な区間や急カーブのため走行性の著しく悪い区間がまだまだ多く存在しています。

長崎県は全国・九州平均と比較して改良率が低い



離島部は更に改良率が低い



平成22年度～平成27年度の目標値

成果指標	目標値
離島における国県道の供用延長 (県管理道路)	19.6km



(主) 棧原小茂田線(上見坂工区) バイパス整備

(主) 棧原小茂田線(上見坂工区) 工事状況



- 安全な通行が可能となり移動時間が短縮される(約17分短縮)。
- 冬季でも積雪の影響を受けず円滑な通行が可能となる。

2 安全・安心な社会を支える道づくり

問合せ先 道路維持課

通学路における歩道の整備率は5割程度で、まだ十分とは言えない状況です。歩行者の安全・安心な移動空間の確保のため、歩道の整備など、歩行者の安全性向上対策を実施します。また、安全で快適な歩行空間の確保、及び地震時や台風時の電柱の倒壊を防ぐため、電線類を道路の地下等に収める「無電柱化」を推進します。

歩道など交通安全対策の推進

平成24年度は、警察・学校関係者等と「通学路の緊急合同点検」を実施し、対策が必要な箇所は192箇所となりました。

平成27年度も引き続き、通学路緊急点検で危険と判断された箇所や事故の多い箇所について、歩道の新設などを行い、歩道整備延長2kmを目指します。

通学路の緊急点検状況→



〈歩道の新設〉 主要地方道佐世保吉井松浦線
(佐世保市吉井町直谷)



無電柱化の推進

電線類を道路の地下等に収めることにより、安全で快適な道路空間の確保、景観の向上、電柱が無くなる事による地震や台風時の安全性の向上を図ります。

平成23年度から平成27年度までの間に11.8kmの無電柱化を目指します。

〈個別事業の紹介〉 一般県道長与大橋町線(長崎市昭和町地区)

無電柱化のイメージ

